

第 65 回日本電気泳動学会総会開催日程

総会長 平野 久

会 期 平成 26 年 10 月 24 日 (金) ~ 25 日 (土)

会 場 横浜情報文化センター (横浜市中区日本大通 11 番地)

| 第 65 回 日本電気泳動学会総会・研究発表会開催日程 | | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|---------------|---|---|------------------------------------|
| | 10月23日 (木) | 10月24日 (金) | | | 10月25日 (土) | | |
| | 横浜市立大学先端医科学研究センター 5階 会議室 | 情文ホール (6F) | 大会議室 (7F) | ホワイエ (6F) | 情文ホール (6F) | 大会議室 (7F) | ホワイエ (6F) |
| 9:00 | | | 評議員会 (9:00-10:00) | | | | ポスターセッション 発表・討論 (9:00-10:30) |
| 10:00 | | 総会 (10:00-10:30) | | | | | |
| 10:30 | | 写真撮影(10:30-10:50) | | | | | |
| 10:50 | | 開会挨拶 授賞式 (10:50-11:00) 国際学術賞平井賞 受賞講演会 (11:00-11:45) | | | シンポジウム 「最新の電気泳動技術 30の話題」 Part II | | |
| 11:45 | | ランチョンセミナー (11:45-12:15) | | | S1-13~S1-18 (10:30-12:30) | | |
| 12:15 | | | | ポスター掲示 | | | |
| 12:30 | | | ランチ (12:15-13:00) | (11:45-13:00) | ランチョンセミナー (12:30-13:00) | | |
| 13:00 | | | | | | ランチ (13:00-13:30) | |
| 13:30 | | シンポジウム 「最新の電気泳動技術 30の話題」 Part I | | | | | |
| 15:00 | | S1-1~S1-12 (13:00-17:15) | | | シンポジウム 「最新の電気泳動技術 30の話題」 Part III | シンポジウム 「電気泳動で明らか にされた新症例」 S2-1~S2-7 (13:30-16:10) | |
| 16:10 | 理事会 (15:00-16:30) | | | | S1-19~S1-30 (13:30-17:45) | | |
| 16:30 | | | | | | 閉会の挨拶 | |
| 17:00 | | | | | | | |
| 17:15 | Prof. O'Farrell 特別講演会 (17:00-18:00) | | | | | | |
| 17:45 | | | | | | 閉会の挨拶 | |
| 18:00 | | | | | | | |
| 18:30 | 理事・評議員・名誉会員懇親会 (付属病院10階レストラン) | | 懇親会 (横浜情報文化センター2階カフェドゥラプレス) (17:15-19:30) | | | | |
| 19:30 | (18:30-20:00) | | | | | | |
| 20:00 | | | | | | | |

理事会 : 平成 26 年 10 月 23 日 (木) 15:00-16:30
横浜市立大学先端医科学研究センター5 階会議室

評議員会 : 平成 26 年 10 月 24 日 (金) 9:00-10:00
横浜情報文化センター7 階大会議室

懇親会 : 平成 26 年 10 月 24 日 (金) 17:15-
横浜情報文化センター2 階カフェドゥラプレス

第 65 回日本電気泳動学会総会プログラム

10月24日（金）【第1日目】

10:00-10:30

日本電気泳動学会総会（正会員・準会員）

10:30-10:50

写真撮影

10:50-11:00

開会挨拶・学会賞授賞式

■日本電気泳動学会国際学術賞平井賞受賞講演 <情文ホール（6,7F）>

司会：平野 久（横浜市立大学先端医科学研究センター）

11:00-11:45

Development of two-dimensional gel electrophoresis and early steps
in the evolution of electrophoresis methods.

カリフォルニア大学サンフランシスコ校 Patrick H. O'Farrell

●ランチョンセミナー <情文ホール（6,7F）>

11:45-12:15

L-1 蛍光ウェスタンブロットングのすすめ

GEヘルスケア・ジャパン(株) 大島 典子

■シンポジウム1「最新の電気泳動技術30の話題」part I <情文ホール（6,7F）>

セッションオーガナイザー：平野 久

【新規担体を用いた電気泳動】座長：藤田 清貴（群馬パース大学保健科学部）

13:00-13:20

S1-1 超分子ヒドロゲルを支持体としたタンパク質電気泳動法の開発

静岡大学創造科学技術大学院 山中 正道

13:20-13:40

S1-2 分子マトリックス電気泳動

産業技術総合研究所 亀山 昭彦

【非変性ゲル電気泳動】座長：島崎 洋次（愛媛大学大学院理工学研究科）

13:40-14:00

S1-3 非変性条件マイクロ二次元電気泳動と定量的 LC-MS/MS の組み合わせによる細胞タンパク質の解析

愛媛大学理学部 真鍋 敬

14:00-14:20

S1-4 改変型 CBB を用いた新規 Clear Native 電気泳動法

鳥取大学大学院工学研究科 日野 智也

【アフィニティー電気泳動】座長：森山 隆則（北海道大学大学院保健科学研究院）

14:20-14:40

S1-5 Phos-tag 電気泳動

広島大学医歯薬保健学研究院 木下 英司

14:40-15:00

S1-6 タンパク質結合型金属イオンのポリアクリルアミドゲル電気泳動によるマッピング

埼玉大学大学院理工学研究科 齋藤 伸吾

15:00-15:20

S1-7 アフィニティー分子マトリクス電気泳動

産業技術総合研究所 松野 裕樹

15:20-15:35 休憩

15:35-15:55

S1-8 レクチンアフィニティークロマトグラフィー分析による糖タンパクの臨床応用

東邦大学医学部泌尿器科 笠原 瑞希

15:55-16:15

S1-9 アフィニティートラップポリアクリルアミドゲル電気泳動

大阪大学蛋白質研究所 高尾 敏文

16:15-16:35

S1-10 ホウ素化合物 MPBA を用いた電気泳動法による糖タンパク質の分析

北里大学理学部 大石 正道

【三次元デジタル電気泳動】座長：田中 経彦（山口大学医学部保健学科）

16:35-16:55

S1-11 三次元デジタル電気泳動法の開発

大阪府立大学大学院工学研究科 末吉 健志

【自動電気泳動装置】座長：田中 経彦（山口大学医学部保健学科）

16:55-17:15

S1-12 全自動二次元電気泳動装置の開発と融合プロテオミクスへの応用

熊本大学大学院生命科学研究部 荒木 令江

10月25日(土)【第2日目】

■ポスターセッション(一般演題ポスター発表・討論) <ホワイエ(6F)>

P-1 ~ P-22

9:00- 9:45 奇数番号の発表・討論

9:45-10:30 偶数番号の発表・討論

■シンポジウム1「最新の電気泳動技術30の話題」part II <情文ホール(6,7F)>

【難溶性タンパク質の電気泳動】座長: 酒井 伸枝(埼玉県立大学保健医療福祉学部)

10:30-10:50

S1-13 粘液多糖類を含む単細胞生物 *Colpoda cucullus* タンパク質の SDS と Tween 80 を用いた
二次元電気泳動法による解析

高知大学理学部生物科学コース 十亀 陽一郎・松岡 達臣

【二次元電気泳動】座長: 小寺 義男(北里大学理学部)

10:50-11:10

S1-14 蛍光二次元電気泳動法を用いたがんのバイオマーカー開発

国立がん研究センター研究所 近藤 格

11:10-11:30

S1-15 ラージゲルプロテオミクスを基盤とした神経細胞の軸索形成とガイダンスの解析

奈良先端大学院大学 稲垣 直之

11:30-11:50

S1-16 アガロースゲル二次元電気泳動の新技術

北里大学理学部 大石 正道

11:50-12:10

S1-17 液相等電点泳動を用いた二次元泳動法の活用

香川大学農学部 杉山 康憲

12:10-12:30

S1-18 二次元電気泳動画像解析ソフト *cancerd2* の開発

京都工芸繊維大学工芸科学研究科 岸本 通雅

●ランチョンセミナー <情文ホール(6,7F)>

12:30-13:00

L-2 ウェスタンブロットングから細胞局在解析へ *

GEヘルスケア・ジャパン(株) 大島 典子

■シンポジウム1「最新の電気泳動技術30の話題」part III <情文ホール(6,7F)>

【ゲル上のタンパク質の検出】座長: 武川 睦寛(東京大学医科学研究所)

13:30-13:50

S1-19 インゲルキナーゼアッセイ法~その後の進歩

広島大学大学院総合科学研究科 石田 敦彦

13:50-14:10

S1-20 タンパク質検出用蛍光分子プローブの創製とハイスループット検出法への展開

産業技術総合研究所 鈴木 祥夫

14:10-14:30

S1-21 自己抗体が認識する抗原タンパク質の検出法の開発

北里大学医療衛生学部 佐藤 雄一

【キャピラリー電気泳動】座長：梶原 英之（農業生物資源研究所）

14:30-14:50

S1-22 プロテオーム時代の創薬に向けた plug-plug ACE 法の利用

東京大学大学院新領域創成科学研究科 齋藤 一樹

14:50-15:10

S1-23 アフィニティープローブキャピラリー電気泳動による翻訳後修飾パターン分析

福島医科大学医学部 志村 清仁

15:10-15:30

S1-24 部分導入アフィニティーキャピラリー電気泳動による糖タンパク質糖鎖の高感度解析技術の開発

近畿大学薬学部 鈴木 茂生

15:30-15:45 休憩

15:45-16:05

S1-25 キャピラリー電気泳動を用いる濃縮—分離—分取法の開発とその応用

埼玉大学大学院理工学部 齋藤 伸吾

16:05-16:25

S1-26 アフィニティーリガンド内包ヒドロゲル部分充填キャピラリーを用いる電気泳動分析

京都大学大学院工学研究科 大塚 浩二

【翻訳後修飾タンパク質の電気泳動】座長：木村 弥生（横浜市立大学先端医科学研究センター）

16:25-16:45

S1-27 核移行糖転移酵素を用いた核内 N-アセチルグルコサミン修飾タンパク質同定法の確立

東京大学大学院新領域創成科学研究科 山本 一夫

16:45-17:05

S1-28 タンパク質中のチオール基の酸化還元状態を可視化・定量する DNA マレイミドの開発

東京工業大学資源化学研究所 原 怜

17:05-17:25

S1-29 Cy3/Cy5 マレイミド蛍光標識二次元電気泳動法によるタンパク質内フリーチオールレベルの比較定量解析

横浜市立大学先端医科学研究センター 戸田 年総

17:25-17:45

S1-30 全タンパク質の電気泳動度データベース Mobilitome

理化学研究所 松山 晃久

17:45 閉会挨拶 大石正道 日本電気泳動学会副会長

■シンポジウム2「電気泳動による臨床検査～電気泳動で明らかにされる新症例」〈大会議室 7F〉

セッションオーガナイザー：中山 亜紀

13:30-13:35 挨拶 中山 亜紀（文京学院大学保健医療技術学部）

座長：曾川 一幸（麻布大学生命環境科学科部）

13:35-13:55

S2-1 電気泳動法を用いる血液型依存性高 ALP 血症の確認

埼玉県立大学保健医療福祉学部 松下 誠

13:55-14:15

S2-2 LBA 法を原理とするミュータスワコ-i30 測定 AFP の偽低値の解析と患者特性について

近畿大学医学部附属病院中央臨床検査部 井本 真由美

14:15-14:35

S2-3 電気泳動検査が発見の端緒となった自己免疫性脾炎の診断基準

信州大学附属病院 菅野 光俊

14:35-14:50 休憩

座長：久保田 亮（埼玉県立大学保健医療福祉学部）

14:50-15:10

S2-4 LAP 測定試薬との異常反応を呈した原発性マクログロブリン血症の解析例

旭川医大病院臨床検査・輸血部 新関 紀康

15:10-15:30

S2-5 電気泳動検査で見出された monoclonal IgE の分子性状解析

信州大学医学部保健学科 亀子 文子

座長：木村 明佐子（文京学院大学保健医療技術学部）

15:30-15:50

S2-6 電気泳動解析を生かした臨床検査診断

青森県環境保健センター 佐藤 裕久

15:50-16:10

S2-7 セア膜電気泳動法を用いた尿タンパク解析で腎障害を診る

文京学院大学保健医療技術学部 中山 亜紀

16:10 閉会挨拶 近藤 格 日本電気泳動学会副会長